

募集要項

内 容	京都大学情報学研究科知能情報学専攻の研究室による各分野の講義・演習 【知能メディア】3session (①コンピュータービジョン ②音声メディア ③自然言語処理) 【認知システム】2session (④統計的機械学習 ⑤離散構造データからの機械学習) 【脳認知科学】3session (⑥認知情報 ⑦心理情報 ⑧脳情報)
日 程	2020年9月～2021年3月 木・金 9:30-18:00 【知能メディア】各 session 4 日間 (週 2 日 × 2 週) 【認知システム】各 session 4 日間 (週 2 日 × 2 週) 【脳認知科学】各 session 2 日間 (週 2 日 × 1 週)
場 所	オンラインシステムを利用した講義・演習
対 象	人工知能を活用した課題解決に取り組んでいる・取り組みたい技術者 (①新規事業・先行開発 ②研究 ③技術・製造 ④ソリューション開発 等の部門の 研究開発従事者およびそれに準ずる方)
定 員	各セッション 20 名程度
受 講 料	【知能メディア】各 session : 30 万円 (税別) 【認知システム】各 session : 30 万円 (税別) 【脳認知科学】各 session : 15 万円 (税別) 一括受講 (全 8 session) 160 万円 (税別) 複数 session 受講 2session 目以降 10% オフ
申 込 締 切	一括受講・セッション 1 9月10日 (木) セッション 2-8 各開講日の 2 週間前 (定員に達し次第締切ります)
必要なもの	PCおよびオンライン受講が可能なウェブ環境 (演習環境は提供いたします)
主 催	京都大学大学院情報学研究科、京大オリジナル株式会社
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1session4 日間 (20 コマ相当) ※脳認知科学は 1session10 コマ相当 ・ 各研究室の教員によるプログラム構成、直接講義 ・ 個々のレベルに合わせたアシスタントによるフォロー ・ 演習で使用したソースコードの提供 ・ slack などチャットツールによる事後フォロー ・ 教員との面談
申込・詳細	https://www.kyodai-original.co.jp/jinkouchinou2020
問 合 せ 先	京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部 電話 : 075-753-7778 mail : kensyu@kyodai-original.co.jp



キャンセルについて

・受講キャンセルの場合、下記規定に基づきキャンセル料を頂戴いたします。

- | | |
|-------------------------|-----------|
| (1) 開講日の 21 日前から 8 日前まで | 受講料の 30% |
| (2) 開講日の 7 日前から 4 日前まで | 受講料の 50% |
| (3) 開講日の 3 日前から当日まで | 受講料の 100% |

ただし、お申込日を含む 8 日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講日前日までのご連絡であれば、開講までの日数にかかわらず、キャンセル料は発生いたしません。

・受講者が一定数に達しない場合など、やむを得ず講座の開講を中止することがあります。その場合、お支払い済みの受講料はお返しいたします。
(その他、規定についてはホームページをご覧ください)

写真等の取り扱い

セミナーの様子は、写真・ビデオ撮影を行わせていただきます。また、撮影した写真・動画は、京大オリジナル (株) の広報手段、講演資料、マスメディア提供資料、書籍などに用いる場合があります。個人が特定されないよう加工することをご希望の方は、期間中にお申し出ください。

オンライン

『人を知る』 人工知能講座 2020

～「人を知るための」・「人を知ることによってできる」人工知能～



第2期
2020年9月開講

京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻

はじめに

「人を知る」人工知能について



人工知能は人の生活を豊かにするためにあるべきものです。そのためには、人の意図を理解し、状態を推し量り、個人に合わせ、状況を見据えた判断をおこなう高次計算機情報処理、すなわち「人を知ることによってできる」人工知能が必須となります。人工知能技術はまた、人の考えや行動の発現の裏にある複雑な情報処理機構を解明するための、「人を知るため」の合わせ鏡ともなります。人工知能技術を用いてより人を良く知り、人をより知ることでより良い人工知能技術を生み出すことができます。

京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻では、このような「人を知る」人工知能の実現を目指し、各専門の研究者が切磋琢磨し、多角的かつ融合的な研究を進めています。これらの研究成果も含めた最先端の基盤技術と基礎理論をより広く知っていただくことにより、「人を知る」人工知能を活用した未来社会の産学の垣根を超えた創生に向けたつながりの場となることを期待しています。



知能情報学専攻 8分野

講座で得られること

本講座は、京都大学の叡智を結集し、最新研究動向を含めた知見を惜しみなく提供する真の AI 人材育成プログラムです。

基礎から先端までの網羅的な講義により、技術の裏側にある理論や背景を理解した上で演習を行います。これにより、該当分野における知識レベルを一気に引き上げるだけでなく、分野全体を俯瞰する能力を身につけることができます。

受講者自身もしくは自社の該当分野における立ち位置を把握し、今後何に取り組むべきかが見えてくることで、目の前の問題解決にとどまらず、企業課題解決に多角的なアプローチをする視点と技術力を身につけることを本講座のゴールとしています。

2019年度参加者の声

専門的な知識をなぜそのようになっているのかなど、理由から説明していただくことで、とても理解しやすかったです。

私自身は、機械学習分野にそれほど造詣が深くありません。なんとなく、ばらばらと自力で学習していた、単語は知っているものもありましたが、体系的な学習ができていませんでした。まとめて聞くことが出来て非常に良かったです。

大量のデータを扱う時にどういう手法が最適なのか考える知識を身につけることができました。

演習や資料等があり、持ち帰って復習ができそうで良かったです。

普段体系的に理解できていないことや分野の最先端の研究がどのあたりなのか、また学問分野としてどのように発展してきたのかということがわかりよかったです。

他社の研修と比べ、明らかにレベルの高い内容だと思います。理解するために一生懸命を動かしたため、あつという間の4日間でした。

全体的に、ボリューム・レベル的にもちょうどよく、先生やTAの方々にも質問にも丁寧にお答えいただき、大変勉強になりました。

最先端の分野では、どこがわかっていてどこがわからないのか、講義を通して感じることができました。

4日間という短い時間の中で、ここまで濃い内容を教えるのは大変だと思います。それでも講師陣の方々の分かりやすい解説と考えられたカリキュラムのおかげでどうにか付いていくことができました。

よくある人工知能（深層学習）の本だけでは得られない原理等の知見と解説、応用技術を学ぶことができました。

講師の皆様との質疑応答を通じて、自分自身の解析目的に適用できそうなアイデアをいくつか頂けたのが最大の収穫でした。他社さんとも交流できてよかったです。他社さんが今後どのように活用しようとしているかについても聞けてよかったです。

知能メディア

Session 1
コンピュータビジョン
[西野 恒教授 研究室]

9月24日(木) / 9月25日(金) / 10月1日(木) / 10月2日(金)
コンピュータビジョンに関して、特に人の動作理解に着目し、その最新の研究動向紹介を筆頭に、特徴量検出と識別器学習の基礎理論を踏まえ、深層学習の基礎からその物体認識や姿勢推定、さらには行動認識への適用を具体的に実装しながら理解を深めます。
前提知識: Python 等のオブジェクト指向言語でのプログラミング経験、大学初等の微分積分、線形代数の知識

Session 2
音声メディア
[河原 達也教授 研究室]

10月15日(木) / 10月16日(金) / 10月22日(木) / 10月23日(金)
音声強調・認識・対話の理論的基盤の講義と最新動向の紹介および、アプリケーション作成からモデルの深層学習演習を行います。
前提知識: 2週目は Linux、Python、Pytorch などの経験が必要

Session 3
自然言語処理
[黒橋 禎夫教授 研究室]

10月29日(木) / 10月30日(金) / 11月5日(木) / 11月6日(金)
自然言語処理に関して、その歴史から最新の研究動向までを概観するとともに、基本的な言語解析システムおよび感情分析・翻訳・要約などの応用システムについて具体的に実装しながら理解を深めます。
前提知識: Python プログラミングに関する基礎知識(参考図書:Python チュートリアル第3版(オライリー))、ベクトル・行列・確率に関する基礎知識

認知システム

Session 4
統計的機械学習
[鹿島 久嗣教授 研究室]

11月19日(木) / 11月20日(金) / 11月26日(木) / 11月27日(金)
統計的機械学習の基本的な考え方やアプローチを学ぶとともに、先端的な話題、とくにグラフやネットワークといった複雑な構造をもったデータを扱う手法を学びます。また、単に知識としての理解だけでなく、実際にデータを前に手を動かして、試行錯誤することでこれらの知識を実体験をもって理解することを目指します。
前提知識: Python 言語でのプログラミング経験、大学初等の微分積分・線形代数・確率統計の知識

Session 5
離散構造データからの機械学習
[山本 章博教授 研究室]

12月10日(木) / 12月11日(金) / 12月24日(木) / 12月25日(金)
前半では離散データに対するデータマイニングに関して、特にデータ構造の素性に注目し、数論的背景と基本的なアルゴリズムを理解します。後半では最適化問題を解くための代表的手法である汎用ソルバ (SAT ソルバ、MIP ソルバ) を利用した問題解決法の習得を目指します。
前提知識: Python 等のオブジェクト指向言語でのプログラミング経験、大学初等の離散数学 (集合論、ブール代数、グラフ理論) の知識

脳認知科学

Session 6
認知情報学
[西田真也教授 研究室]

2月18日(木) / 2月19日(金)
人間の認識、特に視覚情報処理の基本原則と、近年人間の能力に迫りつつある人工知能の認識との類似性や違い、さらに人間の感覚特性を技術開発に利用する方法について、最新の視覚科学と情報学の知見に基づく講義とディスカッションを通じて理解を深める。
前提知識: 特になし

Session 7
心理情報学
[熊田 孝恒教授 研究室]

3月4日(木) / 3月5日(金)
人間の心理や行動を人工知能の技術を用いて理解し、予測する技術の基盤となる人間の基本的な性質について、最新の心理学や脳科学、情報学の知見に基づく講義とディスカッションを通じて理解を深める。特に、実際の技術開発や製品開発につながる人間の捉え方に重点を置く。
前提知識: 特になし

Session 8
脳情報学
[神谷 之康教授 研究室]

3月18日(木) / 3月19日(金)
脳を情報処理システムとしてとらえ、神経活動のモデリングと脳データ解析を通して、脳の仕組みにもとづいて脳情報を活用する方法を学びます。
前提知識: Python でのプログラミング経験、微分積分・線形代数・確率統計の基礎知識